

使用済み商用車架装物 解体マニュアル

車両運搬車

(2台積み)

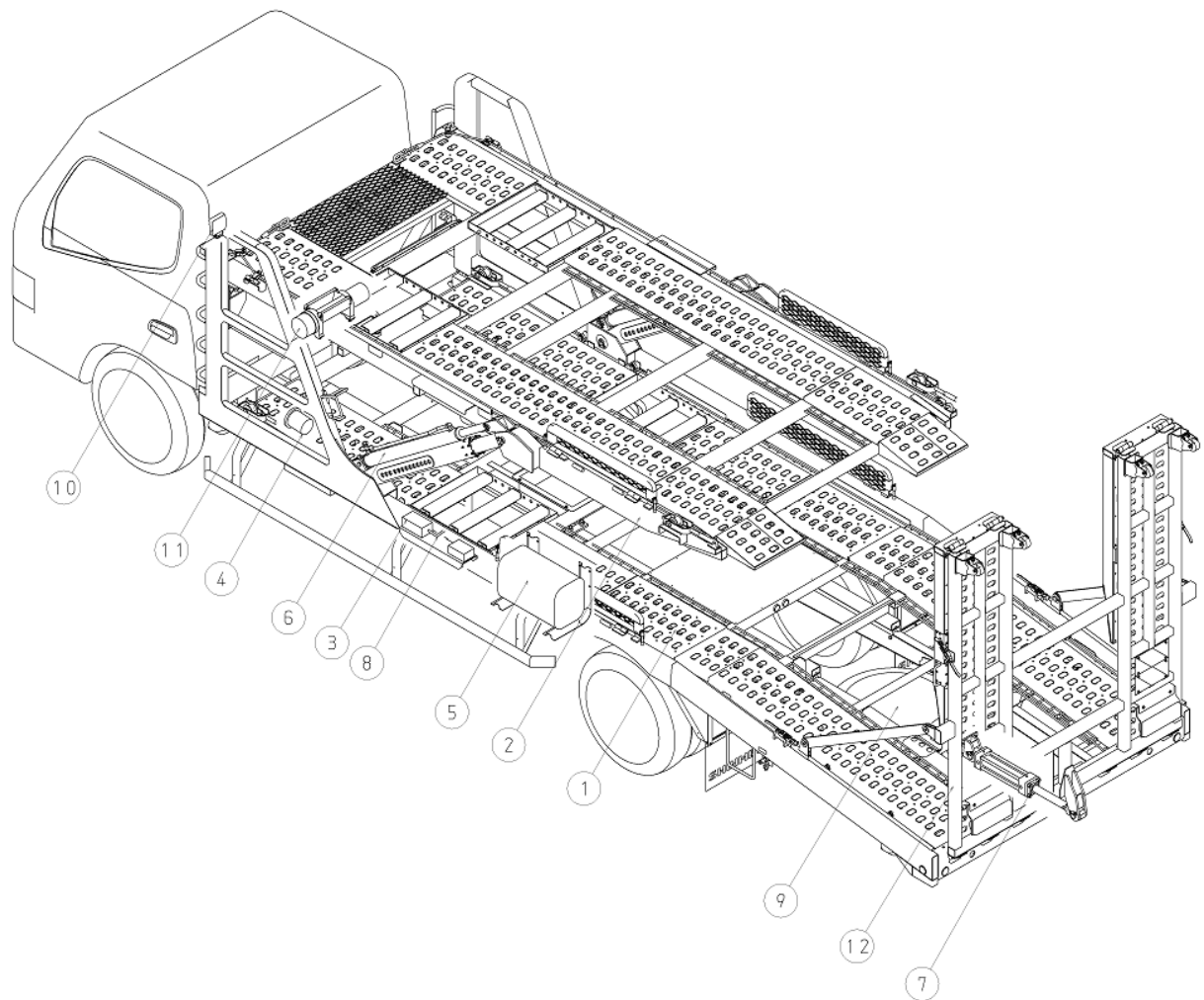
1. 解体マニュアルは一般的な事例を示しています。掲載している図、表は実物と異なる場合がございますのでご了承ください。
2. 解体作業に伴う作業上の注意事項、事前選別対象部品、環境負荷 物質の取り扱い等につきましては、「使用済み商用車架装物解体マニュアル(新明工業株式会社 共通編)」を併せてご覧ください。
3. このマニュアルは解体方法に関する参考資料としてご提供するものですので、実際の解体作業においては各社様のご判断により作業を進めてください。

目次

1. 車両運搬車架装物の構造概要
2. 車両運搬車架装物の解体マニュアル
3. お問い合わせ窓口

新明工業株式会社

1. 車両運搬車架装物の構造概要



(注) 上図は一般的な車両運搬車を例に表示しており、車格及び仕様により形状等が異なる場合があります。

品 目 表

番号	品目名称	番号	品目名称
1	1Fボデー	7	展開用シリンダ
2	2Fボデー	8	パイピング
3	コントロールバルブ	9	オイルタンク
4	ポンプ	10	電装部品
5	オイルタンク	11	ウインチ
6	昇降用シリンダ	12	リヤゲート

2. 車両運搬車架装物の解体手順

品目番号	品目名	解体方法	注意事項
	事前処理. 1	荷台に積載物がないことを確認し、外装部品を取り外して下さい。(サイドガード、ランプ類)	
	事前処理. 2	リヤゲートを地面に接地させ、2Fフロアを1Fフロアに設置させた状態で、シリンダのホースを外し、作動油を抜いて下さい。作動油量は約30リットルです。	作動油を受けるためのオイルパン等を用意して下さい。
	事前処理. 3	荷台に取り付けてある作業灯等の電装品配線を外して下さい。	
車両全体	ボデー降ろし	天井クレーンを使用して、ボデーをクレーンで吊り上げ、車両から降ろして下さい。 <u>順序</u> まずは2Fフロアを降ろして下さい。 次にリヤゲートを降ろして下さい。 最後に1Fフロアを降ろして下さい。	ワイヤ掛けを確実に行って安全に注意して下さい。 周囲の安全を確認して下さい。
車両全体	油圧部品	油圧ゴムホースやサブフレームに結合されているピン・ボルト等を外し、油圧部品を車両から降ろして下さい。 作動油を受けるためのオイルパン等を用意して下さい。	クレーン等を使って安全に注意して下さい。
車両全体	1Fボデー固縛	固縛ボルト及びプレートを溶断して、サブフレームをシャシから降ろして下さい。	クレーン等を使って安全に注意して下さい。
1	1Fボデー	溶断等により裁断し、材質により分別して下さい。	切断ヒューム、粉塵等に注意して下さい。
2	2Fボデー	溶断等により裁断し、材質により分別して下さい。	切断ヒューム、粉塵等に注意して下さい。
3	コントロールバルブ	内部残油を抜いて、金属類と樹脂類に分別して下さい。	オイルパン等を準備して、ドレン等から内部残油を抜いて下さい。
4	ポンプ	内部残油を抜いて、金属類とゴム類に分別して下さい。	オイルパン等を準備して、ドレン等から内部残油を抜いて下さい。
5	オイルタンク	内部残油を抜いて、金属類とゴム類に分別して下さい。	オイルパン等を準備して、ドレン等から内部残油を抜いて下さい。

品目番号	品目名	解体方法	注意事項
6	昇降用シリンダ	内部残油を抜いて、金属類とゴム類に分別して下さい。	オイルパン等を準備して、ドレン等から内部残油を抜いて下さい。
7	展開用シリンダ	内部残油を抜いて、金属類とゴム類に分別して下さい。	オイルパン等を準備して、ドレン等から内部残油を抜いて下さい。
8	パイピング	内部残油を抜いて、金属類とゴム類に分別して下さい。	オイルパン等を準備して、ドレン等から内部残油を抜いて下さい。
9	スペアタイヤ キャリア	取り外し、分別して下さい。	
10	電装部品	金属類と配線類、樹脂類に分別して下さい。 特に、制御ボックスは蓋を開けて中の部品を分別して下さい。	主配線はシャシ側に渡って配索されているため、切り離して下さい。
11	ウインチ	分解し、金属類と樹脂類に分別して下さい。	
12	リヤゲート	溶断等により裁断し、材質により分別して下さい。	切断ヒューム、粉塵等に注意して下さい。

(注)4、5、6の油圧機器の解体には専門知識、工具が必要ですので専門業者に委託して適切に処理願います。

3. お問い合わせ窓口

本解体マニュアルに関しまして、お問い合わせ事項等がございましたら下記までお願い致します。

新明工業株式会社 自動車事業本部 大型特装部

TEL:0565-51-6888

以上

使用済み商用車架装物 解体マニュアル

新明工業株式会社 共通編

1. 本解体マニュアルは、当社で製造する商用車架装物の解体に関する共通的な事項を掲載しています。
各機種毎の解体マニュアルと併せてご覧ください。
2. このマニュアルは解体方法に関する参考資料としてご提供するものです。
実際の解体作業におかれましては各社様のご判断により作業を進めてください。

内容

1. 目的
2. 作業上の注意
3. 事前選別対象部品
4. 環境負荷物質の取り扱い
5. FRP、断熱材、木材の解体後処理
6. 機種別解体マニュアル
7. お問い合わせ窓口

本マニュアルは、新明工業株式会社にて製造する商用車架装物の解体に関して、「適正で効率的な作業」や「責任ある使用済み架装物処理方法」を案内し、使用済み商用車架装物処理の各段階で適正且つ安全に処理するための手順をまとめたものです。

1. 目的

解体した商用車架装物が、資源として効率的に有効活用が行えるよう情報提供をするものです。

2. 作業上の注意

- 1) 作業を安全に行うため、定められた作業服、作業帽、安全靴を着用し、作業内容に応じて保護メガネ、耳栓、防塵マスク等の保護具を着用してください。
- 2) 高所作業については、安全帯、足場の確保等転落防止処置を講じて行ってください。
- 3) 燃料系及び作動油等の除去・回収に当たっては消防法を遵守し、引火・爆発が発生しない環境下及び方法で行ってください。
- 4) 油脂・液材系の回収にあたっては、地下浸透や施設外流出が発生しない環境下及び方法で行ってください。
- 5) タンク等の解体時は事前に有害物質等の除去・洗浄を完全に行い、安全を確保した上で作業してください。

3. 事前選別対象部品

事前選別とは使用済み商用車架装物等に含まれる有害物質および埋立が禁止されている部品・材料等、ならびにそれらを含む部品を破砕処理する前工程で選別し、適正に保管、処分する作業をいいます。

事前選別対象部品は【別表1】を参照願います。

4. 環境負荷物質の取り扱い

- 1) 環境負荷物質を含む部品等については、確実に分離し適正な処理に努めてください。
- 2) 環境負荷物質使用部品例
【別表2】を参照願います。

5. 木材、断熱材、FRPの解体後処理については、一般社団法人日本自動車車体工業会の「適正処理・再資源化協力事業者一覧表」を参照し、適正に処理してください。

6. 具体的な解体手順につきましては、各機種の解体マニュアルを参照願います。

また、解体マニュアルのない機種につきましては、下記にお問合わせ願います。

7. 使用済み商用車架装物解体マニュアルに関するお問合わせ窓口

新明工業株式会社 自動車事業本部 大型特装部 TEL:0565-51-6888

【別表1】使用済み商用車架装物の事前選別対象物の選定(1/3)

使用済み商用車架装物の事前選別対象物等の除去、保管及び処理方法

処理品目	危険区分	産業廃棄物区分	I 代表的な除去方法	II 工場内保管方法例	III 処分方法例
ガソリン	第一石油類 (引火点 21℃未満)	該当せず (有価物として再利用)	ドレンプラグ部から 抜き取る バキューム吸引、 または、タンクに穴を あけて抜き取る	消防法指定数量内でド ラム缶等に保管	自家燃料として使用
軽油	第二石油類 (引火点 21～70℃)	該当せず (有価物として再利用)	ドレンプラグ部から 抜き取る バキューム吸引、 または、タンクに穴を あけて抜き取る	消防法指定数量内でド ラム缶等に保管	自家燃料として使用
LPG	燃料用液化石油ガス 容器 (高圧ガス保安法)	該当せず (Ⅲ項参照)	車両ボンベごと外す	残ガスの有無で 保管場所を分ける	「液化石油ガス容器 くず化設備基準」に 基づく設備を有する 専門業者に容器の くず化処理委託
廃油 (作動油)	第四石油類 (引火点 200℃以上)	廃油	ドレンプラグ部から 抜き取る バキューム吸引等	消防法指定数量内で ドラム缶等に保管	廃油処理業者に委託
廃液 (ブレーキフルード)	第三石油類 (引火点 70～200℃)	廃油	リザーバタンクから バキューム吸引等 ホースカット等	消防法指定数量内で ドラム缶等に保管 (他液剤とは混ぜない)	廃油処理業者に委託

使用済み商用車架装物の事前選別対象物等の除去、保管及び処理方法(2/3)

処理品目	危険区分	産業廃棄物区分	I 代表的な除去方法	II 工場内保管方法例	III 処分方法例
LLC (冷却水)	希釈液は適用外 (原液 40%超すと 第三石油類)	廃油	ドレンプラグ部から 抜き取る ホースカット等	ドラム缶等に保管 (他液剤とは混ぜない)	廃油処理業者に委託 または再生処理装置で 再生処理
ウォッシャー液	希釈液は適用外 (原液 40%超すと アルコール類)	廃油	リザーバタンクから バキューム吸引等 本体取り外し	ドラム缶等に保管 (他液剤とは混ぜない)	廃油処理業者に委託
フロンガス	該当せず	該当せず	専門回収装置で 抜き取る	専門ボンベに保管	都道府県知事の登録 を受けたフロン類回収 業に委託
消火器	該当せず	該当せず	車両から取り出す	雨水のかからない 場所で保管	専門業者に委託
アキュムレータ	高圧ガス保安法 (1MPa 以上)	金属くず、 廃プラスチック類	タンク内の液体や 窒素ガスを大気放出	所定パレット内に保管	産業廃棄物処理業者 に委託
バッテリー	該当せず	該当せず	車両から取り出す	雨水のかからない 場所で保管	蓄電池工業会の リサイクルシステムで の回収・処理ルートに 委託
銅製ラジエーター (半田部に鉛含有)	該当せず	金属くず	車両から取り外す	所定パレット内に保管	金属回収専門業者に 委託
バッテリーケーブル 端子(鉛製端子)	該当せず	金属くず	車両から取り出す	雨水のかからない 場所で保管	金属回収専門業者に 委託

使用済み商用車架装物の事前選別対象物等の除去、保管及び処理方法(3/3)

処理品目	危険区分	産業廃棄物区分	I 代表的な除去方法	II 工場内保管方法例	III 処分方法例
鉛製ホイールバランス	該当せず	金属くず	タイヤから取り外す	雨水のかからない 場所で保管	金属回収専門業者に 委託
ガススプリング	該当せず	該当せず	車両から取り出す	所定パレット内に保管	製造メーカーの指示に 基づく処理
鉛メッキ処理鋼板製 燃料タンク	該当せず	金属くず	車両から取り出す	所定パレット内に保管	金属回収専門業者に 委託
タイヤ	該当せず	廃プラスチック類	車両から取り出す	所定パレット内に保管	タイヤ回収専門業者に 委託
樹脂(バンパー等) 部品、ガラス部品	該当せず	廃プラスチック類 ガラスくずおよび陶磁 器くず	車両から取り出す	所定パレット内に保管	シュレッダー業者 または専門回収会社に 処理委託

【別表2】環境負荷物質含有事例

物質	部品／材料	部品の具体例
鉛	アルミニウム(加工性等向上のため添加)	ブレーキ部品、ホイール・リム、ウインドウレバー等
	銅合金	パイプ継手、軸受け(ブッシュ)、ベアリング、把手、扉金具等
	はんだ	半田使用部品全般 (プリント基盤、電球端子、温度ヒューズ等)
	バランスウエイト	バランスウエイト
	ホース金具	油圧ホース金具
	塗料	
六価クロム	防錆コーティング (シリンダロッドのクロームメッキは対象外)	ブレーキパイプ、ボルト・ナット・ワッシャ、ピン・シャフト、ホース金具、継手等
	カラー鋼板、カラーアルミ板	バンボデー外板等
	塗料	
水銀	電球および計器盤表示	放電管型電球(HID)、キセノンヘッドランプ、蛍光灯等
		メータ用バックライト
		ナビディスプレイ用バックライト
カドミウム	電装品	プリント基板
		エアコンのコイルレジスタンス
		スイッチ、リレー、アクチュエータ等の接点
		温度ヒューズ
	銅合金の不純物	油空圧継手等